

第15回 令和8年度
公益社団法人福島県診療放射線技師会
定時総会議案書



期 日 令和8年5月30日(土) 15:00-16:00

場 所 竹田総合病院 竹田ホール
会津若松市山鹿町3-27
Tel 0242-29-9868

総会次第

司 会 会津地区

- 一、開会の辞 副会長 遊佐 雅徳
- 二、会長挨拶 会 長 鈴木 雅博
- 三、表 彰 永年勤続表彰（20年）
特別表彰（功労賞）
- 四、総会運営委員会報告
- 五、議長選任
- 六、書記選任
- 七、議事
- 1.報告事項 令和7年度事業報告について
 - 2.第1号議案 令和7年度決算報告について
 - 3.報告事項 令和7年度監査報告について
 - 4.第2号議案 令和8年度事業計画（案）について
 - 5.第3号議案 令和8年度予算（案）について
 - 6.第4号議案 規程の改正について
 - 7.報告事項 規程の改正について
 - 8.報告事項 理事の変更について
 9. その他
- 八、議長解任
- 九、閉会の辞 副会長 久米本 祐樹

議事

報告事項 令和7年度事業報告	4
定款に基づく事業	5
(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業	5
1) 講演会・講習会等	5
2) 分科会・部会活動	8
3) 各地区協議会研究会	13
(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業	17
(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業	18
(4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業	19
(5) その他の目的を達成するために必要な事業	20
庶務報告	25
第1号議案 令和7年度決算報告	26
報告事項 令和7年度監査報告	36
第2号議案 令和8年度事業計画(案)	37
定款に基づく事業	38
(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業	38
(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業	38
(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事	38
(4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業	38
(5) その他目的を達成するために必要な事業	39
令和8年度 年間行事予定表 (案)	41
第3号議案 令和8年度予算(案)	42
令和8年度 収支予算案について	42
第4号議案 規程の改正	44
報告事項 規程の改正	45
報告事項 理事の変更	45

議 事

報告事項 令和7年度事業報告

総括

令和7年度は、医療環境の変化の中で、診療放射線技師の専門性向上と職能発展を目指し、学術活動や人材育成に取り組んだ一年でした。知識・技術の研鑽の場を提供し、会員の交流や情報共有を重視するとともに、地域医療を支える専門職として、関係団体や他職種と連携し、県民に信頼される放射線医療の実現を目指し活動してきました。本報告では、令和7年度に実施した主な事業内容とその成果を整理し、今後の活動につなげるための記録として報告する。

令和7年5月31日(土)に第14回定時総会が福島県立医科大学附属病院で行われた。役員改選もあり、これまで5期10年務めた新里会長が退任し、会長を含む新しい体制でのスタートとなった。また、同日総会後に行われた理事会において、各地区協議会選出の委員の承認もされ、6月22日(日)に太田西ノ内病院で令和7・8年度合同委員会を開催し、各委員が顔合わせを行いながら各委員会での委員会活動が始まった。

11月1日(土)に令和7年度福島県原子力防災訓練／原子力災害医療活動訓練が富岡町総合スポーツセンターで行われた。当会からは7名の会員が参加し、午前と午後の掛け持ちもあり多忙な中での訓練となった。また、2月22日(日)には、宮城県放射線技師会主催の令和7年度放射線管理士・放射線機器管理士研修会で福島・岩手・宮城合同シンポジウムが開催され、菅野副会長がシンポジストとして参加。3月14日(土)には、福島県放射線管理士部会と神奈川県放射線管理士部会の共催によるセミナーが行われた。これらは、原子力災害時における診療放射線技師の役割を示すものであり、県民の信頼にもつながる重要な取り組みです。ご参加・ご協力いただいた会員の皆さまに、感謝の意を表します。

福島県診療放射線技師学術大会は、昨年同様、星総合病院ポラリス保健看護学院メグレズホールを使用して開催し130名を超える方に参加いただいた。一般公開講演は、日本診療放射線技師会レントゲン週間イベントとの共催で福島県立医科大学保健科学部診療放射線学科 准教授 佐藤久志先生に「放射線治療医ががんになった話」という演題でご講演頂いた。教育講演は、キヤノンメディカルから共催をいただき、「CT国内導入50周年～新Canon CTとDeep Learning技術～」を講演していただいた。一般演題では演題募集時において不手際があり、演題申し込みを検討されたいた方など多くの方にご迷惑おかけしました事を改めてお詫び申し上げます。また、賛助会員の皆様には広告掲載や機器展示など多方面で例年ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

県単位での開催が最後となる今年度の告示研修は、8月23日(土)に福島県立医科大学保健科学部で開催された。最終的に8割以上の県内技師が受講修了することができ、この4年間、県内各地区での開催にご協力いただいたファシリテーターの皆様には、これまでのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、心より敬意を表します。

これらの活動は、会員一人ひとりの理解と協力のもとに成り立つものであり、日々の業務に加え、技師会活動に積極的に参画いただいたことに深く感謝申し上げます。今後も公益社団法人としての使命を果たすべく取り組んでまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

1) 講演会・講習会等

①第 22 回東北 MR 技術研究会（後援）

開催日：令和 7 年 7 月 12 日

開催場所：AER（アエル）5 階仙台市中小企業活性化センター多目的ホール

②第 36 回 福島県臨床画像研究会（共催）

開催日：令和 7 年 7 月 19 日

開催場所：福島テルサ 4F つきのわ

【講演内容】

情報提供

バイエル薬品株式会社

講演

「AquilionONE/INSIGHT Edition の使用経験～胸部 CT 編～」

大原総合病院 放射線科 佐原 和樹 先生

講演

「呼吸器疾患の CT 診断～小葉と関連付けながら基本に立ち返る～」

東北医科薬科大学 放射線医学 教授 山田 隆之 先生

③新潟・山形・福島合同血管撮影研究会 2nd（後援）

開催日：令和 7 年 8 月 30 日

開催場所：竹田総合病院 竹田ホール

④第 16 回東北 CT 技術研究会（後援）

開催日：令和 7 年 9 月 6 日

開催場所：いわて県民情報交流センター アイーナ 8 F 研修室 812（Hybrid 開催）

⑤第 1 回福島医療放射線計測・防護研究会（協賛）

開催日：令和 7 年 9 月 20 日

開催場所：福島県立医科大学福島駅前キャンパス

⑥第 25 回 県北 MDCT カンファレンス

開催日：令和 7 年 9 月 27 日

開催場所：福島テルサ 3F 「あぶくま」

1 基礎講演

CT における空間分解能

福島赤十字病院 玉根 勇樹

2 実験企画 テーマ「空間分解能を測定してみよう」

解析法説明 「ImageJ と Excel を使ったワイヤ法による MTF 解析について」

福島医科大学附属病院 亀井 智也

ワイヤ法 「ワイヤ法で自由に測定してみてください」

SIEMENS SOMATOM Definition Edge

済生会福島総合病院 佐藤 美香

PHILIPS CT5300

公立藤田総合病院 菅野 莉々花

CANON Aquilion Prime SP

福島赤十字病院 島田 翔平

円形エッジ法 「円形エッジ法でいろいろ測定してみました」

GE ASiR - V

医療生協わたり病院 岩崎 翼

CANON AIDR 3D Enhanced・AiCE・PIQE

大原総合病院 千葉 洋史

SIEMENS SAFIRE

済生会福島総合病院 渡邊 暁

3 特別講演

X線 CT50年、県北 MDCT25年 CT従事者の現状

済生会福島総合病院 放射線科 橋本 直人 先生

⑦第16回会津心臓病・心血管疾患研究会（後援）

開催日：令和7年11月14日・15日

開催場所：わかまつインターベンションクリニック

⑧第11回福島血管撮影技術セミナー（後援）

開催日：令和7年11月29日

開催場所：星総合病院 ポラリス保健看護学院（Hybrid開催）

【講演内容】

Educational session

「透析について…詳しく知ろう」

星総合病院 国分 達郎

「シャントとは？透析に欠かせない通り道！」

柘記念病院 臨床工学技士 国分 高利 先生

「AVF？とAVG？シャントの種類を理解しよう」

総合南東北病院 内藤 信介

「VAIVTとは？シャントを守るIVRの実際」

竹田総合病院 小柴 佑介

「VAIVTにおける看護師の患者ケア」

星総合病院 看護師 鹿子田 美恵 先生

Practical session

「透視で支えるVAIVT 診療放射線技師の役割と安全」

太田西ノ内病院 瀧田 幸子

「エコーで見えるVAIVT 臨床工学技士が担う技術とアプローチ」

いわき市医療センター 臨床工学技士 兼本 大輔 先生

総合討論

太田西ノ内病院 放射線診断科 為田 忠信 先生

太田西ノ内病院 腎臓内科 坂部 琢磨 先生

柘記念病院 臨床工学技士 国分 高利 先生

いわき市医療センター 臨床工学技士 兼本 大輔 先生

星総合病院 看護師 鹿子田 美恵 先生

総合南東北病院 三瓶 孝

太田西ノ内病院 瀧田 幸子

情報提供

島津メディカルシステムズ株式会社 大屋 索 様

特別講演

「バスキュラーアクセスについて」 太田西ノ内病院 腎臓内科 坂部 琢磨 先生

「みんなで取り組むVAIVT」 太田西ノ内病院 放射線診断科 為田 忠信 先生

⑨The 40th MICS (共催)

開催日：令和7年12月13日

開催場所：星総合病院 2F レストラン

【講演内容】

I. 用語セミナー 「サイバーセキュリティ対策チェックリストについて」

白河厚生総合病院 石森 光一

II. 施設運用報告

「VPN 機器の脆弱性診断について」

太田熱海病院 照井 英樹

「クラウド型 PACS の導入から使用経験」

福島労災病院 佐藤 貴晃

III. 技術講演

「AI を用いた攻撃とそれらへのアプローチ」

ダークトレースジャパン株式会社 三谷 活成

IV. 特別講演

「チーム医療・多職種連携を促進するリーダーシップについて」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 大越 厚

IV. フリーディスカッション

⑩日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会研修会 第15回福島セミナー (共催)

開催日：令和8年2月7日

開催場所：(公財)福島市振興公社キョウワグループ・テルサホール

⑪第16回 福島救急撮影カンファレンス (後援)

開催日：令和8年2月14日

開催場所：福島県立医科大学福島駅前キャンパス

【講演内容】

情報提供 1

キャノンメディカルシステムズ 様

情報提供 2 「加熱式タバコの誤飲症例」

山鹿クリニック 工藤 靖之

施設報告

「当院における STAT 画像の導入から運用実態まで」

いわき市医療センター 秋田 貴宏 先生

「当院における STAT 画像報告について」

竹田総合病院 栗田 準一郎 先生

「STAT 画像は一部にすぎない—当院で築いた読影補助体制の実際」

星総合病院 岡部 雄太 先生

「全員報告を実現する STAT 画像所見報告のための教育体制」

太田西ノ内病院 宮田 健吏 先生

特別講演 「STAT 画像報告の実際 ～撮影技術の基礎知識、そして未来の技師像～」

帝京大学医療技術学部 富田 博信 先生

⑫2026年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム (後援)

開催日：令和8年3月12日

開催場所：福島県立医科大学福島駅前キャンパス多目的ホール

⑬福島核医学 SUBCULTURE STUDY MEETING vol.5 (後援)

開催日：令和8年3月14日

開催場所：星総合病院 2F レストラン

【講演内容】

話題提供 「テクネ[®]MAA[®]キットについて」 PDRファーマ株式会社

症例提示 「99mTc-MAA 肺血流シンチグラフィの実際」

太田総合病院附属太田西ノ内病院 伊藤 由莉 先生

白河厚生総合病院 小室 敦司 先生

特別講演 「肺血流シンチグラフィの特徴」

福島県立医科大学医学部 放射線医学講座 准教授 石井 士朗 先生

Discussion

2) 分科会・部会活動

①CT 分科会

第7回福島県 CT テクニカルセミナー

開催日：令和7年6月7日

開催場所：星総合病院 ポラリス保健看護学院

参加者 76 名

情報提供 アミン株式会社

ベーシックセミナー 「CT の基礎」

「1. 画質評価法」 大原総合病院 佐藤 大樹 様

「2. 再構成法」 竹田総合病院 小柴 佑介 様

「3. アーチファクトと対策」 いわき市医療センター 樋口 峻平 様

アドバンスセミナー 「Ai-CT の基礎から実践」

「1. 法令、倫理」 会津医療センター 菅野 朋史

「2. 医療安全、感染対策」 南相馬市立総合病院 草野 雅人

「3. 撮影方法/条件、画像処理」 太田西ノ内病院 深澤 秀人

アドバンスセミナー 「Ai 実施施設の現状報告」

福島県立医科大学附属病院 佐藤 謙吾 様

総合南東北病院 富澤 太輝 様

特別講演

「見えない死因に挑むー Ai-CT が導く死因究明の新境地」

東北大学大学院 医学系研究科 画像診断学分野 助教 小林 智哉 先生

②MRI 分科会

第24回福島県 MRI 技術研究会

開催日：令和7年6月14日

開催場所：福島県立医科大学福島駅前キャンパス

参加者 71 名

情報提供 バイエル薬品(株)

会員発表 アーチファクトについて対処法・検証

「身体的 生理的な要因～体動アーチファクトの対策について～」

竹田総合病院 千葉 沙織

「MRI 装置物理的な要因～画像歪みの対策について～」

白河厚生病院 増子 英教

「インプラントや体外的な要因～金属アーチファクトの対策について～」

総合南東北病院 齋藤 嘉希

「Q&A セッション」

特別講演

「臨床に役立つパルスシーケンスの作り方」

小樽市立病院 大浦 大輔 先生

「MRI 画像診断に欠かせないアーチファクトの知識」

つくば国際大学 坂井 上之 先生

③画像技術分科会

第 32 回福島県画像技術研究会

開催日：令和 8 年 1 月 10 日

開催場所：福島県立医科大学福島駅前キャンパス 1 階「多目的ホール」

参加者 70 名（会員：50 名、非会員：20 名）

【講演内容】

情報提供

GE ヘルスケアファーマ(株)

シンポジウム ～各モダリティによる腰椎の画像診断～

「一般撮影における腰椎評価の基本と注意点」

福島県立医科大学附属病院 佐藤 日菜多

「腰椎 CT による骨構造の可視化と術前評価」

総合南東北病院 白井 陽太

「腰椎 MRI における当院の取り組みと最近のトレンド」

かねこクリニック 城戸 修

「手術支援画像としての O-arm の活用と課題」

福島県立医科大学会津医療センター 泉田 健介

特別講演

「脊椎外科医が画像に求めること — 特に腰椎疾患に関して —」

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター 主任教授 大谷 晃司 先生

④乳腺画像分科会

第 24 回福島県乳腺画像研究会

開催日：令和 7 年 9 月 6 日

開催場所：総合南東北病院 N A B E ホール

参加者 56 名（会員：34 名、非会員：22 名）

【講演内容】

テーマ：診断に有用な画像提供を考えよう！

情報提供

シーメンスヘルスケア株式会社

シンポジウム

マンモグラフィ施設・画像評価を通して

ポジショニング・画質の向上を目指し、日常業務に活かしましょう

I. 教育講演

「マンモグラフィ施設・画像評価における画像選定のポイント」

シーメンスヘルスケア株式会社 XP 事業部

青木 みぎ 先生

II. 施設発表

「マンモグラフィ施設・画像評価を受けた経験談」

①福島県立医科大学附属病院

小泉 鮎 先生

②竹田総合病院

小林 瞳 先生

③星総合病院

平岡 陽子 先生

III. ディスカッション

特別講演

「乳がん専門施設の現場から～私たちの取り組みとこれから～」

社会医療法人 博愛会 相良病院・パース通りクリニック 放射線技術部

部長 大迫 俊一 先生

⑤放射線治療分科会

1) 第 49 回福島県放射線治療技術研究会

開催日：令和 7 年 11 月 8 日

開催場所：郡山市労働福祉会館大ホール

参加者 47 名（会員：25 名、非会員：22 名）

【講演内容】

企業講演

「syngo.via の自動輪郭に関して」 シーメンスヘルスケア株式会社 下平 貴史 様

特別講演 1

「第 4 次 AI ブームの乗り越え方」

福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 眞船 翔 先生

特別講演 2

「IAEA の活動って何しているの？」

福島県立医科大学 健康リスクコミュニケーション学講座 福島 安瑞美 先生

会員話題提供 1

「看護師の認定資格について」

福島県立医科大学 看護学部 生命科学部門 佐藤 良信 先生

「ネスキープを用いた肝細胞癌定位照射の初期経験」

福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 眞船 翔 先生

「合成 CT 画像を用いた放射線治療」

福島県立医科大学附属病院 岡 善隆

「計画 CT における撮影スライス厚がインターナルマージンに与える影響について」

福島県立医科大学附属病院 星 佑樹 様

「Hyper〇〇を用いた照射経験」

太田西ノ内病院 庭山 洋 様

特別講演 2

「乳房照射における S G R T と L G を比較した初期検討」

白河厚生総合病院 原 美幸 様

「上顎洞癌に対する HyperArc の線量分布特性」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 4年 渋谷 彩乃 さん

「前立腺癌外部照射における大腿骨の回転エラーが線量分布に及ぼす影響」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 4年 渡部 舜ノ介 さん

「PET-CT を活用した放射線治療計画

転移性骨腫瘍における計画開始までの迅速化・省力化についての検討」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 4年 宮崎 優菜 さん

「Triggered kV Imaging と CBCT の被ばく線量の比較」

福島県立医科大学附属病院 宮岡 裕一 様

「高画質化を目指した SwinIR の応用」

太田西ノ内病院 林 伸也 様

2) 第 50 回福島県放射線治療技術研究会

開催日：令和 8 年 2 月 28 日

開催場所：郡山市労働福祉会館大ホール

参加者 47 名（会員：25 名、非会員：22 名）

【講演内容】

特別講演

「個別化医療への挑戦～ETHOS with AlignRT を武器にして～」

鹿児島大学病院 医療技術部放射線部門 診療放射線技師長 豊田 雅彦 様

看護師合同セッション

「患者さんから放射線治療を“やめたい”と言われたら、どうする??」

福島県立医科大学保健科学部 放射線腫瘍医 佐藤 久志 様

福島県立医科大学保 放射線腫瘍医 梅宮 和真 様

総合南東北病院 がん放射線療法看護認定看護師 緑川 弘子 様

竹田総合病院 がん放射線療法看護認定看護師 関本 さなえ 様

東北大学病院 がん放射線療法看護認定看護師 門脇 美佳 様

会員話題提供 1

「REMOTE-IMRT trial 報告」 太田総合病院附属太田西ノ内病院 庭山 洋

「役に立たない線量計算アルゴリズムの話」 福島県立医科大学附属病院 長澤 陽介

「椎体 S B R T の Intrafractional error」 白河厚生総合病院 高橋 健一

会員話題提供 2

「頭頸部 BNCT における商用深層学習ベース輪郭抽出ソフトウェアの評価」

南東北 BNCT 研究センター 加藤 亮平

「TBI の線量評価」 福島県立医科大学附属病院 原田 正紘

「TKI の追加検討」 福島県立医科大学附属病院 小豆畑 美雪

会員話題提供 3

「DE-CT の治療計画」 福島県立医科大学附属病院 山田 光太

「内部マージンとスライス厚の検討」 福島県立医科大学附属病院 星 佑樹

「当院放射線治療部門のウェルビーイングについて」 福島労災病院 佐々木 亮浩

会員話題提供 4

「金マーカーを用いた前立腺 VMAT における標的位置変動把握とマージン設定に関する基礎的検討」 竹田総合病院 石田 俊太郎

「DRL s 2025 を受けて」 白河厚生総合病院 金沢 翔太

「EclipseVer 1.8 更新と独立検証」 福島県立医科大学附属病院 宮岡 裕一

会員話題提供 5

「放射線治療を担う技師の心構え（仮）」 福島県立医科大学保健科学部 加藤 貴弘

「陽子線治療 × AI：線量分布予測モデルの開発」
南東北がん陽子線治療センター 小川 柊太

「『自動輪郭の評価』」 福島県立医科大学附属病院 岡 善隆

⑥消化器撮影分科会

1) 第 46 回福島県消化器撮影研究会

開催日：令和 7 年 9 月 6 日

開催場所：会津若松市生涯学習センター（會津稽古堂）

参加者 27 名（会員：24 名、非会員：3 名）

【講演内容】

一般演題

「当院における大腸 CT 検査」

医療法人辰星会 柊記念病院 佐藤 力 先生

「腎腫瘍における画像診断の基礎」

公益財団法人 ときわ会 常磐病院 山田 雄介 先生

「膵炎に続発した胃周囲感染性 WON の画像所見と診断のポイント」

南相馬市立総合病院 中島 亮 先生

教育講演

「胃 X 線検査における撮影の基礎と応用」

東京勤労者医療会 東葛病院 安藤 健一 先生

2) 福島県生活習慣病検診等従事者指導講習会（胃がん検診）

及び第47回福島県消化器撮影研究会

開催日：令和8年2月7日

開催場所：総合南東北病院 南東北がん陽子線治療センター 2階大会議室

参加者45名（会員：42名、非会員：3名）

【講演内容】

I. 教育講演

「胃透視検査時の工夫～小弯側描出について（仮）」

社団法人 医療法人 かしま病院 平塚 竜司 先生

II. 教育講演2

「体位変換について考えよう・流出を防ぐためには」

一般財団法人 脳疾患研究所附属総合南東北病院 下山田 明 先生

III. 教育講演3

「隆起性病変の診断（症例を通じて）」

一般財団法人 温知会 会津中央病院 坂本 直彌 先生

松本 聖志朗 先生

⑦福島県放射線管理士部会

2025年度放射線管理士セミナー（神奈川県放射線管理士部会との共催）

開催日：令和8年3月14日

開催場所：ポラリス保健看護学院 3階講義室

参加者14名（会員：9名、非会員：5名）

【講演内容】

部会活動報告

「神奈川県放射線管理士部会 活動報告」

神奈川県放射線管理士部会 副会長 齋藤 敦子

「福島県放射線管理士部会 活動報告」

福島県放射線管理士部会 部長 佐久間 守雄

災害対策講演

「原子力災害および大規模自然災害時における診療放射線技師の役割」

～ビックレスキューかながわに参加して～

神奈川県放射線技師会 災害対策委員会 委員長

神奈川県放射線管理士部会 副会長 吉田 篤史

実習&解説

「セグメント法を用いたスクリーニングと甲状腺簡易スクリーニング検査」

神奈川県放射線管理士部会 一同

総合討論

3) 各地区協議会研究会

①2025年度会津乳房撮影研究会

開催日：令和7年5月27日

開催場所：竹田総合病院 総合医療センター2階 画像診断センターカンファランス室

参加者 29 名（会員：20 名、非会員：9 名）

1. 代表世話人挨拶
2. 再撮影の調査と原因の振り返り
3. ポジショニング練習会

②県北地区協議会夏季勉強会

開催日：令和7年7月10日

開催場所：Web

参加者 48 名（会員：40 名、非会員：8 名）

【講演内容】

1. CT,MRI 部門

シーメンスヘルスケア	齋木 秀太郎様
富士フイルムメディカル	植松 勝義様
フィリップス・ジャパン	松島 諒人様
GE ヘルスケア・ジャパン	中埜 泰暢様

2. ワークステーション部門

キヤノンメディカルシステムズ	熊崎 大成様
アミン株式会社	林 真平様

③県南地区協議会サマーセミナー

開催日：令和7年7月26日

開催場所：星総合病院 2階レストラン

参加者 29 名（会員：20 名、非会員：9 名）

【講演内容】

1. メーカー話題提供

「ITEM2025 富士製品トピックス」	富士フイルムメディカル株式会社
----------------------	-----------------

「キヤノン ITEM トピックス」	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
-------------------	--------------------

2. 若手スタッフ発表

「ウェブカメラを使用した撮影部位自動認識アルゴリズムの提案」	星総合病院 佐藤 和香葉
--------------------------------	--------------

「流速およびヨード濃度が仮想単純 CT 画像の CT 値に与える影響の検討」	総合南東北病院 東海林 寿紀
--	----------------

「ERCP における鉛防護具の遮蔽の検証」	太田西ノ内病院 阿部 萌々佳
-----------------------	----------------

3. STAT 画像報告について

「未導入施設の現状」	総合南東北病院 三瓶 孝
運用開始の施設からの報告	太田西ノ内病院 深谷 理人

④浜通り地区協議会 夏期研修会・学術大会

開催日：令和7年8月30日

開催場所：いわき市医療センター きょうりつ講堂

参加者 48 名（会員：48 名、非会員：4 名）

学術大会 会員研究発表

1. DEXA 法骨密度測定におけるポジショニング誤差の検討
公立相馬総合病院 阿部 智史
2. 透視検査における妊婦及び胎児被ばくの線量評価
いわき市医療センター 野木 慎仁
3. ERCP におけるポケット線量計の着用方向が外部被ばく線量測定に及ぼす影響
南相馬市立総合病院 末永 雅明
4. Dual-energyCT を用いた筋肉内脂肪含有率測定における MRI との比較
(公財)ときわ会 常磐病院 貝塚 雅也
5. 乳房撮影装置トモシンセシスにおける実行スライス厚測定
鹿島厚生病院 川上 典孝
6. 乳腺 MRI による検診の取り組み -実際の症例から見た有用性と課題-
養生会 かしま病院 川島 千裕

特別講演

「画像診断が診療にもたらす役割」 福島県立医科大学 末永 博紀 先生

⑤第 40 回いわき地区画像研究会

開催日：令和 7 年 11 月 15 日

開催場所：LATOV6 階いわき産業創造館会議室 1

参加者 42 名 (会員：37 名、非会員：5 名)

1 一般講演

CT 造影法の最前線	常磐病院	折笠 希美
	福島労災病院	小林 大志
MRI 造影法とガイドライン改訂	かしま病院	西山 修平
	いわき市医療センター	皆川 和貴
造影剤の安全対策	呉羽総合病院	江原 悠加
	磐城中央病院	廣木 一弘

2 新人紹介

3 特別講演 I

明日から使える！低管電圧と Dual Energy CT の勘どころ

総合病院土浦協同病院放射線部 長谷川 健 先生

4 特別講演 II

TEC で読み解く CT 造影理論

長野赤十字病院放射線診断科部 室賀 浩二 先生

⑥第 114 回会津画像研究会

開催日：令和 7 年 11 月 21 日

開催場所：竹田総合病院 総合医療センター1 階 竹田ホール

参加者 19 名 (会員：19 名、非会員：0 名)

演題

「タスクシフト・シェア 静脈穿刺に関する当院の取組みと実践報告」

竹田総合病院 二瓶 秀明

⑦令和7年度県南地区新年勉強会

開催日：令和8年1月31日

開催場所：ビックアイ7階 市民交流プラザ 大会議室2

参加者35名（会員：24名、非会員：11名）

1 DRLs2025について

DRLs2025の概要 ～改めて学び直そう～

総合南東北病院 秋山 俊一

県南地区施設の線量比較

白河厚生総合病院 増子 英教

2 若手スタッフ発表

新生児における照射野を変更した際の線量評価

星総合病院 溝井 綾乃

X線CT検査における金属アーチファクト低減処理がもたらす画質改善の評価

星総合病院 水野 世琉

3 医療安全について

県内施設の医療安全の体制・取り組みについて

総合南東北病院 國分 美加

星総合病院 澁井 政人

白河厚生総合病院 金澤 孝彦

⑧令和7年度相双地区画像勉強会

開催日：令和8年2月6日

開催場所：相馬市総合福祉センター はまなす館2F 第2会議室

参加者24名（会員：24名、非会員：11名）

1 情報提供

2 会員話題提供

南相馬市立総合病院 佐川 保良

渡辺病院 荒 智美

公立相馬総合病院 高橋 麻子

3 教育講演

FPD（フラットパネルディテクタ）時代の線量と画質の最適化

東北大学病院 診療技術部 診療技術部長 特任教授 齋 政博 先生

⑨県北地区協議会冬季勉強会

開催日：令和8年2月21日

開催場所：大原記念ホール

参加者33名（会員：29名、非会員：4名）

会員発表・講演 「CTの新装置・技術紹介」

Aquilion ONE / INSIGHT Edition がつくる新たな診断の可能性

大原総合病院 佐原 和樹 先生

Philips CT5300 ～臨床に生きる AI 技術～

公立藤田総合病院 中島 真理子 先生

Aquilion Prime SP の秘められた技術：Brain shuttle perfusion

福島県立医科大学附属病院 齋藤 将輝 先生

企業講演

⑩第 115 回会津画像研究会・第 40 回会津 MRI 研究会（合同開催）

開催日：令和 8 年 3 月 5 日

開催場所：竹田総合病院 総合医療センター1 階 竹田ホール

参加者 26 名（会員：20 名、非会員：6 名）

演題 1

1.5T MRI に搭載された ZeroHe×AI 応用技術について

富士フイルムメディカル株式会社 MS 事業部 営業技術部 市川 真仁 氏

演題 2

骨軟部疾患 MRI の撮り方

竹田総合病院放射線科 科長 常陸 真 氏

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

1) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2025」(後援)

日時：令和 7 年 10 月 18 日

場所：ポラリス保健看護学院

2) 一般公開講演会（共催）

令和 7 年度福島県診療放射線技師会学術大会一般公開講座

「放射線治療医ががんになった話

～ポンコツながん患者から学べる事はあるのか?～」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 佐藤 久志 准教授

3) メディカルクルエーションふくしま 2025（共催）

開催日 令和 7 年 10 月 29 日 開催場所 ビックパレットふくしま

4) 第 37 回会津若松市健康まつり

日時：令和 7 年 11 月 2 日

場所：会津若松市文化センター

参加者：2 名

ブース来場者：60 名

(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

1) 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー (共催)

開催日：令和7年8月3日

開催場所：一般財団法人太田総合病院太田西ノ内病院

2) タスクシフトによる告示研修 (日放技からの業務委託)

開催日：令和7年8月23日(土)・24日(日)

開催場所：福島県立医科大学保健科学部

定員：各48名

受講者数：23日29名、24日中止

(県内23名：JART会員7名非会員16名、県外6名：JART会員2名非会員4名)

3) 日本医療マネジメント学会 第13回福島県支部学術集会 (後援)

開催日：令和7年9月27日

開催場所：アピオスペース展示ホール

テーマ：働き方改革と医療DX

4) 第15回 東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2025)

開催日：令和7年10月11日～10月12日

開催場所：リンクステーションホール青森

テーマ：「We can Transformation!」～共創と共業～

5) 第3回東北乳腺まると勉強会 (後援)

開催日：令和7年10月25日

開催場所：仙台徳洲会病院 大会議室

テーマ：乳がん治療後のケア 乳がん看護認定看護師のお仕事とは？

6) 令和7年度福島県放射線技師学術大会 (主催)

開催日：令和7年10月26日

開催場所：星総合病院ポラリス保健看護学院 メグレズホール

参加者141名 (会員：119名、非会員：22名)

内容：

一般公開講座

「放射線治療医ががんになった話

～ポンコツながん患者から学べる事はあるのか?～」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 佐藤 久志 准教授

：教育講演

「CT国内導入50周年 ～新Canon CTとDeep Learning技術～」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 CT営業部営業技術担当 野口 ひかり 先生

：研究発表

セッションⅠ 「治療1」 5演題

セッションⅡ 「放射線管理・機器管理・核・その他」 6演題

セッションⅢ 「CT」 3演題

セッションⅣ 「一般撮影・マンモ」 4演題

セッションⅤ 「MRI」 4演題

セッションVI 「治療2」 5 演題

セッションVII 「救急」 4 演題

：機器展示プレゼンテーション

- ・ 富士フィルムメディカル株式会社
- ・ キヤノンメディカルシステムズ株式会社（共催：教育講演）

7) 国民医療を守るための総決起大会（福島県民医療推進協議会）

開催日：令和7年11月20日

開催場所：福島県医師会館 1階 大会議室

参加者4名

8) 都道府県（診療）放射線技師会との懇談会（日本診療放射線技師会）

開催日：令和7年12月1日

開催場所：Web

参加者4名+JART 役員

若手会員代表 福島県立医科大学附属病院 斎藤 将輝
会津中央病院 朝倉 柊

(4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

1) 令和7年度福島県原子力防災訓練（原子力災害医療活動訓練）

開催日：令和7年11月1日

開催場所：富岡町総合体育館及び駐車場、ふたば医療センター附属病院

訓練項目

- (1) 避難退域時検査訓練
- (2) 安定ヨウ素剤配布訓練
- (3) 甲状腺被ばく線量モニタリング実施訓練
- (4) 医療中継拠点設置運営訓練

参加者7名

2) 令和7年度福島県原子力防災通信連絡訓練

第1回：令和7年6月26日

第2回：令和7年9月24日

第3回：令和7年12月5日

第4回：令和8年1月26日

3) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理

事業内容 各地区ローテーションに加え随時貸し出し

4) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者 WBC 想定結果説明要員の派遣

5) 原子力安全研究協会 福島県原子力防災基礎研修への講師および実習担当者の派遣

令和7年5月28日 1名派遣

令和7年5月29日 2名派遣

令和7年5月30日 2名派遣

(5) その他の目的を達成するために必要な事業

1) 第14回(2025年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

開催日 令和6年5月31日(土)

開催場所 福島県立医科大学附属病院 第二臨床講義室

内容 会員総数660名中、有効票530票(出席者48名、委任状出席者482名)で開催され、提案された議案は全て原案通り可決された。

2) 理事会の開催

令和7年5月31日 令和7年度第1回理事会 (福島県立医科大学附属病院)

令和7年5月31日 令和7年度第2回理事会 (福島県立医科大学附属病院)

令和7年7月16日 令和7年度第3回理事会 (技師会事務所及びWeb)

令和7年9月10日 令和7年度第4回理事会 (技師会事務所及びWeb)

令和7年12月16日 令和7年度第5回理事会 (技師会事務所及びWeb)

令和8年2月21日 令和7年度第6回理事会 (技師会事務所及びWeb)

3) 各地区協議会全体会の開催

令和7年4月23日 会津地区(竹田総合病院総合医療センター1階 竹田ホール)

会員数89名、参加11名 委任状63名

令和7年4月25日 県北地区(福島赤十字病院 研修棟3階)

会員数184名、参加21名 委任状128名

令和7年4月26日 浜通り地区(いわき市医療センター きょうりつ講堂)

会員数173名中、参加25名 委任状144名

令和5年5月17日 県南地区(総合南東北病院・書面表決)

会員数203名、参加183名(内、書面表決173名)

4) 地区協議会委員会

令和7年6月9日	第1回浜通り地区協議会委員会	(web開催)
令和7年8月30日	第2回浜通り地区協議会委員会	(いわき市医療センター)
令和8年3月9日	第3回浜通り地区協議会委員会	(web開催)
令和7年6月26日	第1回県北地区協議会委員	(web開催)
令和7年9月17日	第2回県北地区協議会委員	(web開催)
令和8年2月21日	第3回県北地区協議会委員	(大原記念ホール)
令和7年6月26日	第1回県南地区協議会委員	(南東北がん陽子線治療センター)
令和7年11月27日	第2回県南地区協議会委員	(太田西ノ内病院)
令和8年3月12日	第3回県南地区協議会委員	(星総合病院)
令和7年7月29日	第1回会津地区協議会委員	(竹田総合病院)
令和7年10月21日	第2回会津地区協議会委員	(竹田総合病院)
令和8年3月10日	第3回会津地区協議会委員	(竹田総合病院)

5) 合同委員会

令和7年6月22日	令和7年度合同委員会	(太田西ノ内病院)
-----------	------------	-----------

6) 委員会の活動

①執行部会

運営方針、各業務方針の指示および承認

事業進捗確認・事業計画案・予算案の審議等・中間監査・期末監査・県立入検査

令和7年6月22日	令和7年度第1回執行委員会	(太田西ノ内病院)
令和7年7月16日	令和7年度第2回執行委員会	(技師会事務所)
令和7年9月10日	令和7年度第3回執行委員会	(技師会事務所)
令和7年11月5日	令和7年度中間監査	(技師会事務所)
令和7年12月16日	令和7年度第4回執行委員会	(技師会事務所)
令和8年1月27日	立入検査	(技師会事務所)
令和8年2月21日	令和7年度第5回執行委員会	(技師会事務所)
令和8年4月24日	令和7年度期末監査	(技師会事務所)

②表彰委員会

- (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (50年) 表彰者推薦の審査
 - (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (30年) 表彰者推薦の審査
 - (公社) 福島県診療放射線技師会 永年勤続 (20年) 表彰の審議・決定
 - (公社) 福島県診療放射線技師会 功労表彰者の決定
- 叙勲候補者の推薦審査

③総務企画委員会

会員情報管理業務・庶務一般業務
執行部会との協働活動

④財務委員会

会計業務・資産管理業務

執行部会との協働活動

⑤学術委員会

令和7年度福島県放射線技師学術大会の開催・企画・運営
TCRT2025 への協力

⑥ネットワーク委員会

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業（各研究会案内・求人依頼等）
各委員会及び各地区協議会メーリングリストの運営管理
メールマガジンの発行
各委員会・各地区協議会の共有ファイルシステムの構築

⑦精度管理委員会

Piranha の2台体制での貸し出し開始（4月1日～）

①Piranha Premium ②Piranha657

地区ローテーションと貸し出し期間及び2機種のパフォーマンスの違いをHPに掲載

その他の測定器（電離箱、GM、シンチレーションサーベイメーターの貸し出し）

⑧編集広報委員会

会報の発行 第62号

福放技ニュースの発行 206-211号

⑨生涯教育委員会

フレッシュャーズセミナーの開催

告示研修会の開催

県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

⑩災害対策委員会

福島県原子力防災訓練等に係る関係機関会議出席

原子力災害関連の各種研修会への会員派遣

⑪調査委員会

調査内容の検討

7) 部会報告

①放射線管理士部会

原子力安全研究協会 福島県原子力防災基礎研修への講師および実習担当者の派遣

放射線管理士セミナーの開催

福島県原子力防災訓練への参画・参加

8) ニュース・会報の発行

①令和7年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

- 206号 令和7年5月30日発行 巻頭言 布川副会長
207号 令和7年7月25日発行 巻頭言 鈴木会長
208号 令和7年9月26日発行 巻頭言 遊佐副会長
209号 令和7年11月28日発行 巻頭言 菅野副会長
210号 令和8年1月30日発行 巻頭言 久米本副会長
211号 令和8年3月22日発行 巻頭言 鈴木会長

②会報発行

- 62号 令和8年3月31日発行

9) 会員に対する表彰 (敬称略)

①(公社)福島県診療放射線技師会 永年勤続(20年)表彰

- 県北地区 石井 美智子 (済生会福島総合病院)
内沼 良人 (福島県立医科大学附属病院)
遠藤 有香 (福島県立医科大学附属病院)
佐藤 董 (公立藤田総合病院)
佐藤 孝広 (JCHO 二本松病院)
橋本 浩二 (大原総合病院)
- 県南地区 白井 陽太 (脳神経疾患研究所附属総合南東北病院)
金澤 孝彦 (白河厚生総合病院)
増子 英教 (白河厚生総合病院)
松本 拓也 (脳神経疾患研究所附属総合南東北病院)
鈴木 俊一郎 (寿泉堂総合病院)
高橋 朝茂 (塙厚生病院)
- 会津地区 なし
- 浜通り地区 高橋 麻子 (公立相馬総合病院)
佐藤 尚司 (いわき市医療センター)

②(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(30年)表彰

- 県北地区 相澤 浩樹 (福島赤十字病院)
佐藤 真司 (栞記念病院)
- 県南地区 菅野 修一 (田村市立都路診療所)
- 会津地区 高畑 進 (坂下厚生病院)
- 浜通り地区 なし

③(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(50年)表彰

- 県北地区 森口 節男 (個人)
- 県南地区 なし
- 会津地区 なし
- 浜通り地区 なし

④「学術奨励賞」

心筋血流シンチグラフィ検査における放射エネルギー測定手技省略化の検討

福島県立医科大学附属病院 根本 瞬平

心窩部痛を主訴として救急搬送され、造影 CT にて心筋に Low Density Area を呈した一例

太田西ノ内病院 石井 裕

Dual energy CT における iodine map の定量精度の評価

福島県立医科大学附属病院 濱尾 直実

Deep Learning Reconstruction のパラメーターとデノイズ効果の検討

福島県立医科大学附属病院 高橋 悠馬

仮想クライオアブレーションによる術前シミュレーションの試み

福島県立医科大学附属病院 深谷 岳史

⑤「学術奨励賞・新人賞」

デジタルブレストトモシンセシスの振り角の違いにおける画像分解能の比較

太田西ノ内病院 渡辺 莉奈

⑥「学生表彰」

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科

伊藤 玲司

⑦「功労表彰」

福島県立医科大学附属病院

村上 克彦

福島県立医科大学附属病院

本田 清子

庶務報告

会員動向（令和8年3月31日現在）

正会員数 令和7年度当初：641名 令和7年度末：651名

入会：41名（入会・転入などを含む）

退会：31名（死亡・退会・転出などを含む）

名誉会員数：12名

賛助会員数：17社

貸借対照表 【前年度比較】

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所[税込] (単位:円)
令和8年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金	36,551	34,027	2,524
普通預金	2,882,383	929,241	1,953,142
定期預金	7,423,388	9,280,261	△ 1,856,873
未収会費	240,000	250,000	△ 10,000
未収金	122,000	92,000	30,000
前払金	27,997	111,987	△ 83,990
仮払金	3,240		3,240
流動資産合計	10,735,559	10,697,516	38,043
固定資産			
有形固定資産			
建物	4,763,567	5,032,679	△ 269,112
什器備品	1,998,536	2,586,053	△ 587,517
土地	13,714,596	13,714,596	-
有形固定資産合計	20,476,699	21,333,328	△ 856,629
無形固定資産			
電話加入権	40,000	40,000	-
無形固定資産合計	40,000	40,000	0
固定資産合計	20,516,699	21,373,328	△ 856,629
資産合計	31,252,258	32,070,844	△ 818,586
II 負債の部			
流動負債			
未払金	45,200	76,270	△ 31,070
前受金	99,400		99,400
流動負債合計	144,600	76,270	68,330
固定負債	-	-	-
負債合計	144,600	76,270	68,330
III 純資産の部			
一般純資産	31,107,658	31,994,574	△ 886,916
純資産合計	31,107,658	31,994,574	△ 886,916
負債及び純資産合計	31,252,258	32,070,844	△ 818,586

貸借対照表

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

【税込】(単位:円)
令和8年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	36,551		
普通預金	2,882,383		
定期預金	7,423,388		
現金・預金計	10,342,322		
(売上債権)			
未収会費	240,000		
未収金	122,000		
売上債権計	362,000		
(その他流動資産)			
前払金	27,997		
仮払金	3,240		
その他流動資産計	31,237		
流動資産合計		10,735,559	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	4,763,567		
什器備品	1,998,536		
土地	13,714,596		
有形固定資産計	20,476,699		
(無形固定資産)			
電話加入権	40,000		
無形固定資産計	40,000		
固定資産合計		20,516,699	
資産合計			31,252,258
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	45,200		
前受金	99,400		
流動負債合計		144,600	
負債合計			144,600
《純資産の部》			
一般純資産		31,107,658	
《純資産の部》合計			31,107,658
負債及び純資産合計			31,252,258

活動計算書

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

【税込】(単位:円)

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

1	經常活動区分		
	【經常収益】		
	【受取会費】		
	正会員受取会費	6,350,000	
	賛助会員受取会費	540,000	
	【資産運用益】		
	受取利息	18,296	
	【事業収益】		
	(公1事業収益)		
	出版広報事業広告収益	90,000	
	学術研修事業広告収益	250,000	
	日放技業務受託料収益	202,000	
	福島県業務受託料収益	82,000	
	委託事業負担金	177,044	
	公1事業収益計	801,044	
	經常収益計		7,709,340
	【經常費用】		
	【事業費】		
	(公1事業費)		
	諸謝金(事業)	318,000	
	印刷製本費(事業)	2,337,896	
	厚生費(事業)	98,240	
	会議費(事業)	383,505	
	旅費交通費(事業)	304,220	
	通信運搬費(事業)	837,522	
	消耗品費(事業)	16,714	
	広報費(事業)	101,200	
	減価償却費(事業)	550,932	
	保険料(事業)	13,000	
	支払手数料(事業)	5,583	
	支払負担金(事業)	10,000	
	支払助成金(事業)	121,580	
	雑費(事業)	17,110	
	公1事業費計	5,115,502	
	事業費計		5,115,502
	【管理費】		
	(人件費)		
	役員報酬	111,370	
	給与手当	537,610	
	法定福利費	1,528	
	人件費計	650,508	
	(その他経費)		
	会議費	72,651	
	旅費交通費	739,090	
	通信運搬費	424,345	
	消耗品費	199,353	
	水道光熱費	100,949	
	減価償却費	435,773	
	保険料	135,000	
	諸会費	110,600	
	租税公課	146,161	
	支払手数料	41,315	
	委託報酬手数料	425,005	
	その他経費計	2,830,242	
	管理費計		3,480,750
	經常費用計		8,596,252

活 動 計 算 書

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

【税込】(単位:円)

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

	経常収益費用差額	△ 886,912
Ⅱ	その他活動区分	
	【その他収益】	
	【その他収益】 合計	0
	【その他費用】	
	固定資産除却損	4
	【その他費用】 合計	4
	その他収益費用差額	△ 4
	税引前当期収益費用差額	△ 886,916
	【当期収益費用差額】	△ 886,916
	期首純資産額	31,994,574
	期末純資産額	31,107,658

活動計算書【前年度比較】

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

〔税込〕(単位:円)
令和 8年 3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 經常活動区分			
【經常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	6,350,000	6,270,000	80,000
賛助会員受取会費	540,000	600,000 △	60,000
【資産運用益】			
受取利息	18,296	2,521	15,775
【事業収益】			
出版広報事業広告収益	90,000	110,000 △	20,000
学術研修事業広告収益	250,000	250,000	0
日放技業務受託料収益	202,000	97,600	104,400
福島県業務受託料収益	82,000	82,000	-
委託事業負担金	177,044	469,368 △	292,324
【雑収益】			
雑収益	0	16,000 △	16,000
經常収益計	7,709,340	7,897,489 △	188,149
【經常費用】			
【事業費】			
諸謝金	318,000	380,000 △	62,000
印刷製本費	2,337,896	3,130,358 △	792,462
厚生費	98,240	72,072	26,168
会議費	383,505	770,503 △	386,998
旅費交通費	304,220	363,280 △	59,060
通信運搬費	837,522	768,405	69,117
消耗品費	16,714	8,755	7,959
修繕費	0	104,852 △	104,852
広報費	101,200	136,400 △	35,200
減価償却費	550,932	389,465	161,467
保険料	13,000	13,650 △	650
支払手数料	5,583	15,015 △	9,432
支払負担金	10,000	10,000	0
支払助成金	121,580	130,000 △	8,420
雑費	17,110	126,066 △	108,956
事業費計	5,115,502	6,418,821 △	1,303,319
【管理費】			
役員報酬	111,370	111,370	0
給与手当	537,610	549,530 △	11,920
法定福利費	1,528	1,588 △	60
会議費	72,651	86,043 △	13,392
旅費交通費	739,090	419,680	319,410
通信運搬費	424,345	491,070 △	66,725
消耗品費	199,353	147,040	52,313
修繕費	0	0	0
水道光熱費	100,949	102,017 △	1,068
減価償却費	435,773	568,621 △	132,848
保険料	135,000	134,400	600
諸会費	110,600	109,800	800
租税公課	146,161	143,050	3,111
支払手数料	41,315	47,945 △	6,630
委託報酬手数料	425,005	403,032	21,973
雑費	0	3,337 △	3,337
管理費計	3,480,750	3,318,523	162,227
經常費用計	8,596,252	9,737,344 △	1,141,092
經常収益費用差額	△	886,912 △	1,839,855
		952,943	

Ⅱ その他活動区分				
【その他収益】		-	-	-
【その他費用】		4	1	3
固定資産除却損		4	1	3
当期収益費用差額	△	886,916	△ 1,839,856	952,940
期首純資産額		31,994,574	33,834,430 △	1,839,856
期末純資産額		31,107,658	31,994,574 △	886,916

財 産 目 録

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

【税込】(単位:円)
令和8年 3月31日 現在

	《負債の部》		
【流動負債】			
未払金			45,200
事務員給与 R8年3月分	事業及び法人運営のため		(45,200)
前受金			99,400
業務委託料 JART R8年3月分	事業及び法人運営のため		(99,400)
流動負債合計			144,600
負債合計			144,600
	《純資産の部》		
一般純資産			31,107,658

財 産 目 録

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

[税込] (単位:円)
令和8年 3月31日 現在

貸借対照表科目・場所・物量等	《資産の部》 使用目的等	
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金		36,551
手元保管	運転資金として	(36,551)
普通預金		2,882,383
東邦銀行 大槻支店	運転資金として	(22,012)
東邦銀行 福島医大病院支店	運転資金として	(811,077)
あおぞらネット銀行	運転資金として	(2,049,294)
定期預金		7,423,388
あおぞらネット銀行 減価償却特定資産	特定資産であり、減価償却資産の取替更新のために積み立てている。(特定費用準備資金1)	(5,423,388)
あおぞらネット銀行 事務所修繕積立資産	特定資産であり、事務所改修のために積み立てている。(特定費用準備資金2)	(2,000,000)
現金・預金 計		10,342,322
(売上債権)		
未収 会費		240,000
正会員未収会費 R7年度分 21名	事業及び法人運営のため	(210,000)
賛助会員未収会費 R7年度分 1社	事業及び法人運営のため	(30,000)
未 収 金		122,000
会報 広告掲載料 R7年度分 4社	事業のため	(40,000)
福島県業務委託料	事業のため	(82,000)
売上債権 計		362,000
(その他流動資産)		
前 払 金		27,997
事務所火災保険料 R7年4月～R8年7月	事業及び法人運営のため	(27,997)
仮 払 金		3,240
委員会旅費 過払分	事業及び法人運営のため	(3,240)
その他流動資産 計		31,237
流動資産合計		10,735,559
【固定資産】		
(有形固定資産)		
建 物		4,763,567
福島県郡山市大槻町字原ノ町3番1 軽量鉄骨2階建 140.05㎡	事業及び法人運営のため (公益目的保有財産1)	(4,763,567)
什器 備品	(公益目的保有財産2)	1,998,536
サーベーター 4台	事業のため	(263,342)
線量計 Piranha 関連機器 1台	事業のため	(594,998)
配信用AV設備 1台	事業のため	(173,965)
テーブル付チェア 20脚	事業のため	(239,952)
トーラストファントム 2台	事業のため	(107,811)
エアコン 3台	事業及び法人運営のため	(226,433)
PC 8台	事業及び法人運営のため	(392,035)
土 地		13,714,596
福島県郡山市大槻町字原ノ町3番1 264.68㎡	事業及び法人運営のため (公益目的保有財産3)	(13,714,596)
有形固定資産 計		20,476,699
(無形固定資産)		
電話加入権		40,000
法人本部	事業及び法人運営のため	(40,000)
無形固定資産 計		40,000
固定資産合計		20,516,699
資産合計		31,252,258

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和8年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、公益法人会計基準（令和6年12月20日 内閣府公益認定等委員会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

(3). 引当金の計上基準

該当事項なし

(4). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【使途拘束資産の内訳と増減額及び残高】

【単位】（単位：円）

1. 公益目的保有財産

番号	財産の名前	場所	財産の使用状況 (概要、使用用途、使用状況等)	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
		面積、構造、物量等					
1	建物	郡山市大槻町	公益目的事業の用に供する	3,019,607	-	161,467	2,858,140
		軽量鉄骨 140.05㎡					
2	什器備品	郡山市大槻町等	公益目的事業の用に供する	1,769,537	-	389,469	1,380,068
		測量計、パソコン等					
3	土地	郡山市大槻町	公益目的事業の用に供する	8,228,758	-	-	8,228,758
		264.68㎡					
計				13,017,902	0	550,936	12,466,966

2. 法人活動保有財産

番号	財産の名前	場所	財産の使用状況 (概要、使用用途、使用状況等)	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
		面積、構造、物量等					
1	建物	郡山市大槻町	法人管理運営の用に供する	2,013,072	-	107,645	1,905,427
		軽量鉄骨 140.05㎡					
2	什器備品	郡山市大槻町等	法人管理運営の用に供する	816,516	130,080	328,128	618,468
		測量計、パソコン等					
3	土地	郡山市大槻町	法人管理運営の用に供する	5,485,838	-	-	5,485,838
		264.68㎡					
計				8,315,426	130,080	435,773	8,009,733

3. 特定費用準備資金

番号	財産の名前	場所	財産の目的	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
1	定期預金	あおぞらネット銀行	減価償却資産の取替更新のため	8,280,261	717,593	3,574,466	5,423,388
2	定期預金	あおぞらネット銀行	事務所改修のため	1,000,000	1,000,000	-	2,000,000
計				9,280,261	1,717,593	3,574,466	7,423,388

控除対象財産の額の合計額

30,613,589 1,847,673 4,561,175 27,900,087

【固定資産の内訳と増減額及び残高】

【単位】（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	6,086,700	-	-	6,086,700	1,323,133	4,763,567
什器・備品	10,866,314	130,080	3,574,470	7,421,924	5,423,388	1,998,536
土地	13,714,596	-	-	13,714,596	-	13,714,596
電話加入権	40,000	-	-	40,000	-	40,000
合計	30,707,610	130,080	3,574,470	27,263,220	6,746,521	20,516,699

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

【会計区分及び事業区分別内訳】

区分別の内訳は以下の通りです。

[税込] (単位:円)

	公益目的事業会計 公1	法人会計	合計
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	3,175,000	3,175,000	6,350,000
賛助会員受取会費	270,000	270,000	540,000
【資産運用益】			
受取利息	18,296		18,296
【事業収益】			
出版広報事業広告収益	90,000		90,000
学術研修事業広告収益	250,000		250,000
日放技業務受託料収益	202,000		202,000
福島県業務受託料収益	82,000		82,000
委託事業負担金	177,044		177,044
経常収益 計	4,264,340	3,445,000	7,709,340
【経常費用】			
【事業費】			
諸謝金(事業)	318,000		318,000
印刷製本費(事業)	2,337,896		2,337,896
厚生費(事業)	98,240		98,240
会議費(事業)	383,505		383,505
旅費交通費(事業)	304,220		304,220
通信運搬費(事業)	837,522		837,522
消耗品費(事業)	16,714		16,714
広報費(事業)	101,200		101,200
減価償却費(事業)	550,932		550,932
保険料(事業)	13,000		13,000
支払手数料(事業)	5,583		5,583
支払負担金(事業)	10,000		10,000
支払助成金(事業)	121,580		121,580
雑費(事業)	17,110		17,110
事業費 計	5,115,502	0	5,115,502
【管理費】			
(人件費)			
役員報酬		111,370	111,370
給与手当		537,610	537,610
法定福利費		1,528	1,528
人件費計	0	650,508	650,508
(その他経費)			
会議費		72,651	72,651
旅費交通費		739,090	739,090
通信運搬費		424,345	424,345
消耗品費		199,353	199,353
水道光熱費		100,949	100,949
減価償却費		435,773	435,773
保険料		135,000	135,000
諸会費		110,600	110,600
租税公課		146,161	146,161
支払手数料		41,315	41,315
委託報酬手数料		425,005	425,005
その他経費計	0	2,830,242	2,830,242
管理費 計	0	3,480,750	3,480,750
経常費用 計	5,115,502	3,480,750	8,596,252
経常収益費用差額	△ 851,162	△ 35,750	△ 886,912

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

【その他収益】					
【その他収益】 合計		0	0	0	0
【その他費用】					
固定資産除却損		4	0	4	4
【その他費用】 合計		4	0	4	4
税引前当期収益費用差額		△ 851,166	△ 35,750	△ 886,916	△ 886,916
【収益費用差額】		△ 851,166	△ 35,750	△ 886,916	△ 886,916
期首純資産額					31,994,574
期末純資産額					31,107,658

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

【事業費・管理費の形態別区分】

事業費・管理費の形態別の区分は以下の通りです。

[税込] (単位:円)

	公益目的事業会計	法人会計	合計
【事業費】			
諸謝金(事業)	318,000		318,000
印刷製本費(事業)	2,337,896		2,337,896
厚生費(事業)	98,240		98,240
会議費(事業)	383,505		383,505
旅費交通費(事業)	304,220		304,220
通信運搬費(事業)	837,522		837,522
消耗品費(事業)	16,714		16,714
広報費(事業)	101,200		101,200
減価償却費(事業)	550,932		550,932
保険料(事業)	13,000		13,000
支払手数料(事業)	5,583		5,583
支払負担金(事業)	10,000		10,000
支払助成金(事業)	121,580		121,580
雑費(事業)	17,110		17,110
その他経費計	5,115,502	0	5,115,502
事業費計	5,115,502	0	5,115,502
【管理費】			
(人件費)			
役員報酬		111,370	111,370
給与手当		537,610	537,610
法定福利費		1,528	1,528
人件費計	0	650,508	650,508
(その他経費)			
会議費		72,651	72,651
旅費交通費		739,090	739,090
通信運搬費		424,345	424,345
消耗品費		199,353	199,353
水道光熱費		100,949	100,949
減価償却費		435,773	435,773
保険料		135,000	135,000
諸会費		110,600	110,600
租税公課		146,161	146,161
支払手数料		41,315	41,315
委託報酬手数料		425,005	425,005
その他経費計	0	2,830,242	2,830,242
管理費計	0	3,480,750	3,480,750
経常費用計	5,115,502	3,480,750	8,596,252

令和7年度 監査報告

監査報告

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
代表理事 会長 鈴木 雅博 様

私ども幹事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第26条および第45条に基づき、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

令和8年4月24日

監 事 阿部 郁明

監 事 蓮 忍一夫

以上

第2号議案 令和8年度事業計画（案）

総括

日頃より当会の活動にご理解とご協力をいただいている会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。近年、医療現場ではAIや遠隔診療の進展、働き方改革の推進など、診療放射線技師を取り巻く環境も大きく変化しています。こうした流れの中で、私たち技師一人ひとりが専門性を磨き、チーム医療の中でより主体的な役割を果たしていくことが求められています。

そのような中、当会では昨年度の役員改選により新体制が発足し、手探りの中での運営となりましたが、会員の皆さまのご支援のおかげで無事に一年を乗り切ることができました。この経験を糧に、2年目はより円滑で実りある事業運営を目指してまいります。

本年度の事業計画では、毎年実施している学術大会をはじめ、技術研鑽のための研修会や講習会の充実、若手技師のキャリア支援、地域医療との連携強化、さらに災害時対応力の向上など、実践的かつ継続的な取り組みを重視しています。また、会員同士のつながりを深める交流の場づくりにも力を入れていきたいと考えています。

令和3年度からは日本診療放射線技師会の受託事業として、福島県内で告示研修を開催してまいりましたが、昨年度をもって地方開催は終了となりました。しかし、令和4年12月9日付の厚生労働省通知により特措法が一部改正され、新たな感染症拡大時には、告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号）を修了した診療放射線技師が、国や自治体の要請に応じてワクチン接種を行うことが可能となりました。ただし、告示研修にはワクチン筋注行為を想定した講習内容が含まれていないため、『ワクチン筋注行為に関するオンデマンド講習および実技講習会』の受講が必要となります。実技講習会は各県地域ごとでの開催となるため、当会としても各地区で受講できるよう準備を進め、開催してまいります。また、当会の直轄事業ではありませんが、今年度以降の告示研修は東地域（東京都）と西地域（大阪府）のみでの開催となり、受講の負担が大きくなりますが、未受講の技師の皆さまには、ぜひ積極的な受講をご検討いただきたいと思います。

さらに、第42回日本診療放射線技師学術大会が9月11日～13日に山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）で、第16回東北放射線医療技術学術大会が10月3日～4日に岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センター（キオクシアアイーナ）で開催予定です。多くの会員の皆さまにご参加いただき、研鑽と交流の機会としていただければ幸いです。

なお、福島県診療放射線技師学術大会は例年通りの開催を予定しております。本会の重要な事業のひとつであり、ぜひ多くの会員の皆さまにご参加いただき、知識と交流を深める場としてご活用ください。放射線に関する正しい知識を広めるため、一般公開講演の開催や各自治体での健康まつりへの参加などの啓発活動も、今後も継続して実施していきます。また、福島県原子力防災住民避難訓練への参加や線量計の貸し出し事業など、会員の皆さまや地域住民の安心・安全に寄与する取り組みも、引き続き積極的に推進してまいります。

一方で、物価や諸経費の上昇により、これまでと同じ形で事業を継続することが難しくなっています。そのため、事業内容の見直しやコスト削減にも取り組みながら、無理のない運営を目指していきます。こうした状況をご理解いただき、今後ともご協力をお願いいたします。

最後に、皆さまの現場での声を大切にしながら、より実りある一年となるよう、役員一同力を合わせて取り組んでまいります。引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 福島県 MRI 技術研究会の開催
- 2) 福島県 CT テクニカルセミナーの開催
- 3) 福島県画像技術研究会の開催
- 4) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 5) 福島県乳腺画像研究会の開催 (共催事業)
- 6) 福島県消化器研究会の開催 (共催事業)
- 7) 福島県放射線治療技術研究会の開催 Web 開催も含める
- 8) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (主催事業)
- 9) 福島県臨床画像研究会の開催 (放射線医師会との共催事業)
- 10) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催 (共催事業)
- 11) 福島救急撮影カンファレンスの開催 (共催事業)
- 12) 機器管理士部会の創設への援助
- 13) 各地区協議会主催研究会の開催
- 14) その他、診療放射線技術の向上に関する事業
- 15) 福島医科大学新学部との相互協力関係の維持

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓もう活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) 医療体験セミナーでの中学生への診療放射線技師の活動紹介
- 5) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓もうに関する事業

(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事

- 1) 福島県診療放射線技師学術講演会の開催
- 2) 第 16 回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2026) 開催協力 (共催事業)
- 3) ワクチン筋注行為に関する実技講習会
- 4) その他、診療放射線技師による検査技術向上及び職業倫理の高揚に関する事業

(4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理
X 線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 災害時緊急連絡体制の整備
- 4) 緊急被ばく医療防災事業への協力
令和 8 年度福島県原子力防災住民避難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加

- 5) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力
- 6) 各市の乳がん検診読影会への参加協力
- 7) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

(5) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 第15回(令和8年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催
- 2) 理事会の開催(5-6回)、執行部会(5-6回)、各委員会の開催
- 3) 福島放技ニュースの発行と電子化の検討、会報(1回)の発行
- 4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦
- 5) 会員数増加を目指す勧誘活動
- 6) ホームページによる会員向け情報の発信
- 7) ホームページによる求人情報の提供
- 8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理
- 9) 年会費納入の推進・電子マネーの導入
- 10) 非常勤事務員の雇用により会員サービス向上
- 11) その他、目的を達成するために必要な事業

会員に対する表彰（敬称略）

①（公社）福島県診療放射線技師会 永年勤続（20年）表彰〔第15回県総会時表彰〕

県北地区	安齋 洋之	（済生会川俣病院）
	五十公野 純子	（福島赤十字病院）
	岩永 崇	（福島県立医科大学保健科学部）
	原田 正紘	（福島県立医科大学附属病院）
	三輪 建太	（福島県立医科大学保健科学部）
県南地区	佐々木 鮎美	（星総合病院）
	高橋 健一	（白河厚生総合病院）
	柳沼 裕一	（慈山会医学研究所付属坪井病院）
	橋本 理	（太田総合病院附属太田西ノ内病院）
	関 広伸	（脳神経疾患研究所附属総合南東北病院）
会津地区	土田 奈緒	（会津中央病院）
	吉田 賢	（福島県立医科大学会津医療センター）
浜通り地区	皆川 和貴	（いわき市医療センター）
	新妻 佳代	（かしま病院）

②（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（30年）表彰

〔第42回日本診療放射線技師学術大会時表彰〕

県北地区	高済 英彰	（福島県立医科大学附属病院）
	清水 文彦	（大原総合病院）
県南地区	菊地 孝典	（塙厚生病院）
	濱端 孝彦	（慈山会医学研究所付属坪井病院）
	高木 敏光	（会田病院）
	遠藤 昌明	（あまら整形外科）
	齋藤 由起	（太田総合病院附属太田熱海病院）
	鈴木 広志	（塙厚生病院）
会津地区	穴澤 桂	（会津西病院）
浜通り地区	樋田 幸子	（洋向台クリニック）
	佐藤 浩郁	（呉羽総合病院）
	比佐 賢一	（福島労災病院）
	庄司 博樹	（櫛田病院）
	布川 真理子	（渡辺病院）

③（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（50年）表彰

県北地区	なし
県南地区	なし
会津地区	なし
浜通り地区	なし

④特別表彰（功労賞）〔第15回県総会時表彰〕

笹川 克博	（太田総合病院附属太田西ノ内病院）
-------	-------------------

以上

令和8年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
4月		日本放射線技術学会総会
5月	定時総会 第1回理事会	
6月	福島県MRI技術研究会	日本診療放射線技師会定期総会
7月	第2回理事会 県南地区サマーセミナー 県北地区夏期勉強会 会津画像研究会	全国会長会議 東北MR技術研究会
8月	福島県放射線管理士セミナー	
9月	第3回理事会 浜通り地区夏期研修会 福島県乳腺画像研究会	東北CT技術研究会 核医学技術学会東北地方会 第42回日本診療放射線技師学術大会(山形)
10月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス 県技師会学術大会	日本放射線技術学会秋季学術大会 ピンクリボン in 郡山 東北会長及び教育委員合同会議(岩手) 第15回東北放射線医療技術学術大会(岩手)
11月	福島県放射線治療技術研究会 会津画像研究会 いわき地区画像研究会	福島県原子力防災訓練
12月	第4回理事会	
令和9年1月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会 県北地区新年勉強会	
2月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及び消化器研究会 浜通り地区相双画像勉強会 会津画像研究会 第5回理事会	東北会長及び教育委員合同会議(宮城)
3月		

第3号議案 令和8年度予算(案)

令和8年度 収支予算案について

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位:円)

科 目	R8年度 予算案	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	1,000	1,000	0
特定資産運用収入			0
受取会費			0
正会員受取会費	6,300,000	6,300,000	0
賛助会員受取会費	540,000	570,000	(30,000)
事業収益			0
出版広報事業広告収益	190,000	190,000	0
学術研修事業広告収入	300,000	300,000	0
啓もう普及事業収入	50,000	50,000	0
受取補助金等			0
福島県助成金	82,000	82,000	0
受取負担金			0
委託事業負担金	200,000	500,000	(300,000)
雑収益			0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
経常収益 計	7,665,000	7,995,000	(330,000)
(2)経常費用			
事業費			
会議費	500,000	600,000	(100,000)
旅費交通費	250,000	300,000	(50,000)
通信運搬費	700,000	720,000	(20,000)
減価償却費	50,000	200,000	(150,000)
印刷製本費	1,400,000	1,200,000	200,000
広報費	100,000	170,000	(70,000)
消耗品費	120,000	5,000	115,000
修繕費	700,000	655,000	45,000
保険料	15,000	15,000	0
厚生費	50,000	30,000	20,000
諸謝金	250,000	280,000	(30,000)
支払助成金	160,000	160,000	0
支払負担金	10,000	10,000	0
手数料	5,000	12,000	(7,000)
雑 費	20,000	24,000	(4,000)
事業費 計	4,330,000	4,381,000	(51,000)
管理費			
業務委託費	450,000	500,000	(50,000)
会議費	60,000	60,000	0
旅費交通費	400,000	420,000	(20,000)
通信運搬費	300,000	350,000	(50,000)
什器備品費	300,000	100,000	200,000
減価償却費	100,000	400,000	(300,000)
消耗品費	120,000	140,000	(20,000)

修繕費	400,000	400,000	0
諸会費	220,000	126,000	94,000
人件費	550,000	550,000	0
法定福利費	2,000	2,000	0
保険料	135,000	130,000	5,000
租税公課	150,000	180,000	(30,000)
水道光熱費	80,000	150,000	(70,000)
手数料	40,000	40,000	0
雑費	5,000	5,000	0
管理費計	3,312,000	3,553,000	(241,000)
経常費用計	7,642,000	7,934,000	(292,000)
評価損益等調整前当期経常増減額	23,000	61,000	-38,000
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	23,000	61,000	
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	23,000	61,000	
一般正味財産期首残高	32,055,574	31,994,574	
一般正味財産期末残高	32,078,574	32,055,574	23,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	32,078,574	32,055,574	23,000

第4号議案 規程の改正

会費納入規程

改正前

第5条 正会員が、療養等やむを得ない事由により1ヶ年以上離職したとき、もしくは災害に被災する等の被害を被ったときは会費納入免除の取扱いを受けることができる。

- 2 前項の定めに基づき会費免除の取扱いを受けようとするものは、会費免除申請書に、免除の事由を証明する書類を添え申請するものとする。

改正後

第5条 次に掲げる事項に該当する場合、会費等の免除を受けることができる。

- (1) 正会員が、療法等やむを得ない事由により1ヶ年以上離職したときは会費納入免除の取り扱いを受けることができる。
 - (2) 災害に被災する等の被害を被ったときは会費納入免除の取り扱いを受けることができる。
 - (3) 診療放射線技師免許を取得した年度に正会員として入会する者は、初年度の会費納入免除の取り扱いを受けることができる。
 - (4) 事業年度の中途に入会した正会員のうち、当該事業年度の会費を他の都道府県放射線技師会にすでに納入している正会員は、会費納入免除の取り扱いを受けることができる。
- 2 前項の定めに基づき(1)および(2)の会費納入免除の取扱いを受けようとするものは、会費免除申請書に、免除の事由を証明する書類を添え申請するものとする。

付則 5 令和8年5月30日改定

提案理由

技師資格取得年度にJARTに入会するとJARTの入会費年会費は無料となるが、県の年10,000円の会費は徴収という状況であり、JARTに倣い県の会費も0円にする方が入会者の不信感を払しょくし、入会する壁が無くなることで将来的な会員増といったメリットは大きいと考える。また、中途入会でその年度は既に他県の技師会に会費納入済みの場合、転出入の双方で決めることになっているが、従来、別途徴収することもなく、他県においては規程上に決められている県もあることから、当会も規程にて定めることとする。

報告事項 規程の改正

下記規程の改正は理事会承認を経たので、総会決議の必要が無いが報告する。

程旅費規程

改正前

- 第2条 旅費は、原則として勤務地又は居住地を起点とし、最も経済的な通常の経路および方法により計算する。ただし、業務の必要又は天災その他やむを得ない事情による場合は、この限りではない。
- 2 費用弁償の額は前項の旅費に、1日につき1,000円を加える。
 - 3 宿泊料は1泊につき10,000円とする。ただし、本会で宿泊施設を指定した場合は、本会が直接宿泊費の支払いをする。
 - 4 特別な事由による出張の場合は、第2条の定めに関わらず、会長の決裁を経て、必要な旅費を支給することができる。
 - 5 Web会議への参加の場合は通信雑費として1,000円を支給する

改正後

- 第2条 旅費は、原則として勤務地又は居住地を起点とし、最も経済的な通常の経路および方法により計算する。ただし、業務の必要又は天災その他やむを得ない事情による場合は、この限りではない。
- 2 費用弁償の額は前項の旅費に、1日につき1,000円を加える。
 - 3 会務が4時間以上の場合で、午前中の会務が2時間以上の場合、1人あたり1,500円（税込み）を上限として昼食（弁当と飲み物（水またはお茶））を支給する。ただし、昼食支給が困難な場合は、前項の旅費に食卓料として1,000円を加えて支給することができる。
 - 4 宿泊料は1泊につき10,000円とする。ただし、本会で宿泊施設を指定した場合は、本会が直接宿泊費の支払いをする。
 - 5 特別な事由による出張の場合は、第2条の定めに関わらず、会長の決裁を経て、必要な旅費を支給することができる。
 - 6 Web会議への参加の場合は通信雑費として1,000円を支給する

付則 3 令和8年2月18日、改正（第2条の一部条文の追加および変更）し、令和8年4月1日から施行する。

提案理由

今まで、昼食を支給する規程が無かったことから、旅費規程に明記しその支給根拠を明確にするため

報告事項 理事の変更

令和7年度総会において理事に選任された「三浦 勉」理事が、県外異動により会員資格を有しなくなったため理事を辞任することになったが、定款第22条の理事定数を満たしていることから、今年度新に増員することなく会を運営することとした。